

当院におけるVRを活用したソーシャルスキルトレーニングの試み

○池沢佳之， 剣持慈子
ハートクリニック

【はじめに】

ソーシャルスキルトレーニング（以下SST）は、精神疾患によって低下した社会スキルや生活スキルを回復するための心理社会的療法のひとつであり、主に対人コミュニケーションスキルに焦点を当てて、当事者の生きづらさを解決するトレーニングである。

当院でも2004年よりデイケアのプログラムとしてSSTを実施してきたが、この度VRを活用したSST(以下FACEDUO)を導入することになった。本発表では、筆者らがデイケアや既存のSSTの中で感じた疑問を主発点とし、当院のFACEDUOの活用方法の工夫を発表する。

【目的】

SST導入に際してデイケアメンバーに対して、コミュニケーションの機能として「受信-処理-送信」の説明を行い、SSTを実施している。しかし、SSTのセッションやデイケアの日常の場面においても、「相手の話をしっかり聞いていない」「どのように振る舞うかの行動のバリエーションが少ない」などが目立つメンバーも少なくない。そのようなメンバーに対して、FACEDUOが活用できるのではと考え、2024年1月よりFACEDUOをデイケアプログラムとして導入している。

【方法】

プログラムは原則2週に1回1時間実施している。

基本的な流れとしては、FACEDUOで推奨されている流れに沿って実施しているが、上記の状況をもとに、受信機能のトレーニングとして場面の読み取り、処理技能としてどのように対処するかの特化したワークシートを各回作成し、場面を見ながらワークシートに書き込んだり、話し合いを行ったりしている。

【今後の課題】

FACEDUOを導入してのプログラムを実施から半年が経過し、筆者らもデイケアメンバーもプログラムに慣れてきたのが現状である。デイケアメンバーの意識としても「受信や処理技能の大切さ」を口にするメンバーが増えてきているように感じる。

今回は、プログラムの実施を中心に発表を行なったが、このプログラムが筆者らの疑問に対して効果が見られるのかに関しては、効果の検証を行う必要があると感じている。